本県における上水道施設の耐震化の状況について
（令和６年度末時点）

令和６年度末時点における県内上水道施設の耐震化（耐震適合）率を調査した結果、次のとおりでしたのでお知らせします。

１　耐震化（耐震適合）率

県内における上水道施設の耐震化（耐震適合）率は、**浄水場が 71.1%（全国７位）、配水池が 74.4%（同９位）、基幹管路が 35.8%（同 33 位）**でした。

	本県			全国平均			R6 年度末 全国順位 （R5 年度末）
区　分	**R6 年度末 (%)**	R5 年度末 (%)	増減	**R6 年度末 (%)**	R5 年度末 (%)	増減	
浄 水 場	**71.1**	68.1	＋3.0	**46.7**	44.5	＋2.2	**７位**（6 位）
配 水 池	**74.4**	72.8	＋1.6	**65.9**	64.7	＋1.2	**９位**（9 位）
基幹管路	**35.8**	34.7	＋1.1	**44.6**	43.3	＋1.3	**33 位**（33 位）

２　耐震化（耐震適合）率の増減について、主たる要因は次のとおりです。

（１）**浄水場【対前年度比 3.0 ポイント増】**

（ 新居浜市において、施設更新を実施したことによる。 ）

（２）**配水池【対前年度比 1.6 ポイント増】**

（ 松山市、今治市、四国中央市において、非耐震施設を廃止及び耐震化工事を実施したことによる。 ）

（３）**基幹管路【対前年度比 1.1 ポイント増】**

（ 西予市、内子町、鬼北町等において、耐震化工事を実施したことによる。 ）

３　**浄水場及び配水池の耐震化率は、全国的にも高水準**にある一方、**基幹管路の耐震適合率は、**以下の理由を背景に**低水準**にとどまっている。

○浄水場や配水池の耐震化を優先している市町が多いこと
○山間部等に小規模な集落が点在し、施設の集約化等が困難なこと
○市町の財政状況が厳しいこと　等

このため、県では、各市町等に対して、**耐震化に係る補助金の活用や耐震化計画策定の促進等、限られた財政の下でも水道施設の耐震化における効率的かつ効果的な整備を進めるよう、適切に助言していきます。**